

平成 18 年 度

新見市男女共同参画基本計画

にいみ男女共同参画プラン 実施計画・実績書

平成 19 年 3 月 総務企画部企画課

# 基本目標Ⅰ あらゆる分野への男女共同参画の促進

## 重点項目-1 政策・方針決定過程における男女共同参画の促進

### (1) 行政における女性の参画促進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課	
審議会等への、女性委員の登用を積極的に進めるため平成22年度までに、女性委員の平均登用率の目標値を30%に定める。また、職員の任用、管理監督者への登用及び職域拡大を図り、能力開発のための研修機会の充実を図る。	○審議会等における女性委員の比率 新見市22.0%・・・平成18年4月3日現在 (参考・・・県35.7%・市25.5%・町村21.7%)	関係各課	
	○女性委員がいない審議会の解消 各種団体・組織の長がその職に就いているケースが多く、その長が男性である場合が多いため、女性の委員がいない審議会がある。また、専門知識を有する者等女性の人材不足の場合もある。 今後、充て職等の選考基準を見直す必要がある。		
	○能力ある職員の登用を積極的におこなうとともに、女性の活躍の場の確保に努めた。 市職員535名・・・うち女性職員139名 (教育職・調理員除く) 課長級 4名 補佐級 27名 係長級 41名	総務課	
	○岡山市町村研修センター、備中地域研修センター等各種研修に積極的に派遣した。 全国市町村国際文化研修所の「子育て支援のまちづくり研修」へ女性職員を派遣した。		
	○学校職員の管理職への女性の登用促進を図るため、優秀な人材に管理職選考への受験を促し、管理職への推薦も積極的におこなった。 教員数 292名・・・うち女性教員数 123名 校長 4名 教頭 9名	学校教育課	

### (2) 企業、地域団体等における女性の参画促進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
男女共同参画社会に関する情報提供を行い、方針決定の場に男女共同参画の考えが浸透するよう、また、女性の能力発揮のための積極的取り組みへの働きかけをおこなう。	○行政地区総代会を市内20カ所で開催。地区総代は地区からの推薦によるもので、積極的な女性登用はできないが、女性の出席も多くあった。	総務課
	○市政懇談会を市内25カ所で開催。積極的な女性の参加もあり、市政について女性の視点からの意見や提案を、発表する機会を持つことができた。 開催日時 6月22日～8月31日 市内25会場で開催	企画課

## 重点項目-2 家庭生活と地域社会への男女共同参画の促進

### (1) 家庭生活における男女共同参画の促進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
男女が共に職業生活と家庭生活との両立ができるようにする、という観点に立った広報活動を推進するとともに学習機会を提供する。	○各公民館において男性料理教室を開催。講座や教室で習得したことを家庭でも実施する機会が増え、男女共同参画の意識づくりに役立った。また、正田公民館管内では、地域男性により自発的に作られた「がんこじいさんの会」で、男女共同参画講座や料理教室等積極的に実施した。	生涯学習課

### (2) 地域社会における男女共同参画の推進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
ボランティア活動やNPO活動など社会活動、公民館活動など地域活動へ男女がともに参画できるよう情報提供や、参加を推進する。また、賢い消費者の育成や環境保全活動への参画推進、相談体制の充実を図る。	<p>○サロン事業、介護予防教室事業では、教室ボランティア、送迎ボランティアに男性の積極的参加が見られるようになってきた。</p> <p>○各公民館が主催する各種講座に、男性参加者が徐々にではあるが増加してきているが、女性に比べ男性の地域学習活動への参加が少ない。</p> <p>○新見市民運動推進協議会が中心となり「川をきれいにする運動」を実施し、市民、約8,000人の男女が協力して、地域の美化活動に取り組むことができた。</p> <p>○県消協新見支部会員は85名であるが、すべてが女性となっている。規約改正等をおこない男性の参加を促す必要がある。相談事業については県消費生活センターや弁護士とタイアップし、相談事業の充実を推進している。</p> <p>○環境保全活動については、市民環境会議等と協力し、「クリーン作戦」、「にいみエコフェスタ」、「フリーマーケット」等を開催し、多くの市民が環境保全活動に参画することができ、意識啓発もはかれた。「マイバック運動」についても推進を図っている。</p>	<p>健康づくり課</p> <p>生涯学習課</p> <p>生活環境課</p>

### 重点項目-3 国際化社会に対応する男女共同参画の推進

#### (1) 国際交流・国際協力活動の推進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
国際社会の取組の成果や経験を活用し、国際的視野を広げるため、国際交流事業への女性の参画を促進する。	○新見市と友好都市等で交流している諸外国都市との交流事業への参加募集を行い、中国信陽市、アメリカニューヨーク州ニューパルツビルへ市民を派遣した。また、ホストファミリーとして自宅での受入もおこなった。	総務課
	○国際交流事業への女性教職員の派遣を積極的に行った。	学校教育課

#### (2) 異なる文化を認め、多文化共生をめざす意識づくり

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
異文化理解のための講座・交流機会の充実や国際理解教育を推進する。	○石蟹公民館で中国出身者との交流会を開催。生活、文化等について学んだ。	生涯学習課
	○新見市国際交流協会による、講演会、英語、中国語、ハンダ語講座を開催、参加者の約6割を女性が占めている。市民参加による国際交流ふれあいデイも開催しており、参加者の国際感覚を養うこともできた。	総務課
	○シドニー市(カナダ)との国際交流事業に市内4中学校から7名の参加があり異文化理解を推進した。	学校教育課
	○学校での国際理解教育の一環として、特に小学校の英語活動の充実を図っており、国から英語特区の認可があり、効果が期待できる。中学校では、10校に6名のALTがおり内容が充実してきている。	
○市民課の窓口で「外国人のための岡山生活情報ハンドブック」(岡山県国際交流協会発行)や「在外外国人巡回相談」(岡山県国際交流センター主催)の実施案内を配布し、活用されている。	市民課	

## 基本目標Ⅱ 男女共同参画社会に向けての意識づくり

### 重点項目-1 男女共同参画の視点での社会制度・慣行の見直し

#### (1) さまざまな機会と方法による啓発活動の充実

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
固定的な性別役割分担意識や男性優位の考え方を払拭し、男女共同参画の視点に基づいて職場・家庭・地域における慣行を見直すようあらゆる機会と方法を活用して啓発をおこなう。	○男女共同参画講座の開催 健康サロンいきいき講座 11人	企画課
	○男女共同参画社会づくりフォーラム開催 19年1月13日開催 264人参加(男性も多数参加) ○広報紙、ホームページ等による広報・啓発活動  ○男女共同参画情報紙「りぼん」発行 18年8月、19年2月 年2回発行  ○男女共同参画プラザでは、各種情報を収集し閲覧や、図書、ビデオの貸出を行っている。 (図書 214冊 ビデオ 41本 DVD 2枚)  ○人権標語をボールペンに標記したものを、各種会合等で配布し、意識啓発を推進。	社会福祉課

#### (2) 市職員・教職員に対する研修の充実

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
市職員等への研修や啓発、情報提供や、組織内の制度や慣習を男女共同参画の視点で見直す。	○男女共同参画形成セミナー(ウィズセンター主催)へ男女1名ずつ派遣(延べ6回)するなど、各種研修に積極的に派遣した。	総務課
	○新見市男女共同参画行政推進会議を開催し、庁内における男女共同参画意識の向上に努めている。また、下部組織の研究会においても各種の取り組みの推進を図っている。	企画課
	○市の教育研修所で講演会実施(岡山大学:小松教授) 「ひどくて、やさしい時代の男女共同参画を考える」	学校教育課
	○来客、会議等のお茶くみ、退庁時の清掃等についても手の空いたものが行い、また、紙コップ、ペットボトル等の利用が増加し、女性のみが行うことはなくなっている。職場内の慣行の見直しや性別役割分担意識も改善してきている。	関係各課

## 重点項目-2 男女共同参画を推進するための教育・学習の充実

### (1) 学校等における男女平等教育の推進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
学校教育を通じて、個人の尊厳、男女平等に関する教育の推進と学習機会を提供する。	<p>○児童・生徒への学習機会の提供 各学校に人権教育担当者をおき、教育活動の重要な柱として人権教育を推進している。学校での男女平等についての指導は、日常生活の中や、いろいろな教育活動を通じて、人権教育を充実させる取り組みの中で実施している。</p> <p>○県教育委員会主催の研修に教職員を積極的に参加させている。また、3月には「人権教育とソーシャルスキル」についての理論と実践について研修会を実施している。</p>	学校教育課

### (2) 社会における男女平等を推進するための学習の充実

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
生涯を通じて、個人の尊厳、男女平等の意識を高め、多様化するニーズに対応した学習機会の充実をはかり、グループ・団体等のネットワーク化を推進する。	<p>○公民館では、人権啓発講座を開催した。</p> <p>○PTAにおいて、人権教育推進事業を年2回行っている。</p> <p>○2歳児未満の保護者を対象としたひよこクラスでは、子ども同士のふれあいを通じ、友だちづくりや保護者のストレス軽減を図り、また、5か月から1歳児の保護者を対象に事前申込による離乳食教室を実施した。ひよこクラス、離乳食教室とも父親の参加もあり、男女共同参画意識の啓発、学習機会の提供が図れた。 ひよこクラス(176組 内父親2組) 離乳食教室(115組 内父親3組)</p> <p>○出前サロンを月1回開催(岡大小児科 小田教授)(各支局1回開催)子育てに関する情報や仲間づくりが図れた。 参加者 144組(2月末)</p> <p>○ステップアップ講座(たのしいワード)、コミュニケーション上達講座を開催 ステップアップ講座 6人 コミュニケーション上達講座 20人</p> <p>○女性団体連絡会議を開催</p> <p>○男女共同参画プラザを活用し、学習機会や交流機会及び活動の場所の提供をおこなっている。</p> <p>○男女共同参画プラザに相談員を配置し、さまざまな相談に対応している。また、専用電話も設置している。</p>	<p>生涯学習課</p> <p>健康づくり課</p> <p>企画課</p>

## 基本目標Ⅲ 男女共同参画のための働く環境の整備

### 重点項目-1 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

#### (1) 労働に関する法律・制度の周知

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
労働基準法、男女雇用機会均等法など労働に関する法律や制度などを周知徹底する。	○市として、事業所等に対し労働に関する法律・制度の周知等、具体的な取り組みはできていないが、パートタイムガイドンス開催などハローワーク新見や、21世紀職業財団等と連携して取り組んでいる。また、岡山労働局雇用均等室主催のセクシャルハラスメント防止等のセミナーの開催、広報紙市報にいみに男女雇用機会均等法改正に伴う説明会・相談会について周知を図っている。	商工観光課

#### (2) 女性の能力発揮への支援

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
資格取得、技術取得の機会を充実し、女性の能力活用について啓発をおこなう。	○パソコン講座(新見地域雇用創造促進協議会主催) 12月から2月まで2講座を開催。 12月 ワード初歩 10人 1~2月 日商PC3級対策講座(文書作成) 17人  ○広報紙市報にいみでのウイズセンター主催のキャリアアップ講座の周知。	商工観光課  企画課

#### (3) 女性の妊娠・出産に関する健康管理対策の促進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
女性が働きながら安心して子どもを産むことができる環境を整備する。	○母子手帳交付に合わせて、「母性健康管理指導事項連絡カード」を配布し、事業者へ妊娠や出産に関する健康管理の重要性について周知を図っている。	健康づくり課

#### (4) 多様な働き方の支援

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
女性に多いパートタイム労働者や、起業を希望する女性に対して情報を提共する。	○「新規起業・創業セミナー」(新見地域雇用創造促進協議会主催)開催 ○ウイズセンター主催の起業応援セミナーのチラシを配布	商工観光課  企画課

## 重点項目-2 家族経営的な職業における男女共同参画の確立

### (1) 農林業及び自営の商工業者における男女共同参画の推進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
家族経営協定の普及を図り、家族経営的な職業に従事する女性が各種委員会の委員や、団体等の役員に参画できるよう支援し、また、権利が確保されるよう施策を推進する。	○家族経営協定推進地区を設定し、研修会、実践農家の活動発表、先進地視察等をおこない新たに4戸が家族経営協定を締結 家族経営協定締結数 20戸	農林課
	○農業普及指導センターとの共催により、阿新地方生活交流グループ協議会活動支援のため、協議会員生産品によるお歳暮セットの販売促進、生産物販売促進のための接客研修など開催 阿新地方生活交流グループ 15グループ 120人	
	○地元食材を使つての料理講習 地元食材・特産品を利用した料理コンクールへの参加や料理講習会の開催	
	○商店街女性グループ「新見おかみさん会」の活動支援	商工観光課

## 重点項目-3 男女の仕事と家庭・地域生活の両立支援

### (1) 多様なライフスタイルに対応した子育て支援の充実

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
保育サービスの整備及び在宅の乳幼児も含めた子育て支援策を検討実施する。	○保育サービスの充実 新見保育所では定員245名のところ、267名、神代保育所では45名のところ49名の保育を行っている。他の6園については定員以内 ○一時保育児童数定員 新見 1日10人 大佐 1日 5人 哲西 1日 5人 現在、延長保育、休日保育、障害児保育とも実施している。	社会福祉課
	○子育て支援センターの充実 園庭開放週2日 1回平均70~80人利用 育児相談については毎日実施 出前保育を実施	
	○子育て支援の推進 新見と哲多で子育て広場を開設し、子育てボランティアの協力により、子育て家庭の支援として集いの広場事業を実施している。	
	○放課後児童クラブ(学童保育)の充実 放課後児童クラブを実施 思誠 31人 正田 6人利用	
	○幼児クラブの活動支援 クラブ数 12クラブ	

	<p>○乳幼児医療の充実 就学前の乳幼児を対象とし、医療費自己負担額（付加給付金・高額療養費を控除）を全額支給 受給対象者数 1,817人（平成19年1月末） 医療費助成金額 55,480,626円（平成19年1月診療分）</p>	市民課
	<p>○児童手当の充実（18年度見込） 被用者児童手当 6,491人 39,875千円 非被用者児童手当 1,134人 7,110千円 特別例付 118人 660千円 被用者小学校3年終了前特例給付21,526人127,595千円 非被用者小学校3年終了前特例給付4,494人 26,695千円</p> <p>○次世代育成行動計画により、多様なライフスタイルに対応できるように子育て支援策の充実を図る。</p> <p>○子育て支援コーディネーターを配置 子育て支援情報集約、蓄積、ホームページによる情報の公開等を行い、また、電話による保育依頼等にも民間で立ち上げている「にいみ保育サポーター」と連携を取り保育のサポートをおこなっている。</p>	社会福祉課

## （2）ひとり親家庭等の自立支援

施策の内容	18年度実績（課題）	担当課
ひとり親家庭等の自立を支援する。	○母子自立支援員2名を配置し、相談に応ずるとともに、各種制度の紹介を行い、自立を促している。 また、公私立の保育所及び新見子育て支援センター及び新見子育て広場などを紹介している。	社会福祉課

## （3）仕事と育児・介護の両立のための雇用環境の整備

施策の内容	18年度実績（課題）	担当課
育児・介護休業法の定着促進と、仕事と育児や家族の介護を両立させるための環境を整備する。	○育児休暇・介護休暇取得者の取得期間・復帰時期については原則本人希望によりおこなっている。 育児休暇取得者 13人 育児休暇復帰者 9人 子の看護休暇 21人（内男性7人）	総務課
	○育児休業の取得促進について、校長会や通知文等により啓発をおこなっている。 育児休業者 15人（内男性1人）	学校教育課

(4) 介護支援体制の充実・整備

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
<p>介護保険、介護サービス等の在宅福祉施策を充実させる。</p>	<p>○平成18年10月に新見市障害者地域活動支援センター「ほほえみ広場にいみ」を開所し、相談業務や地域住民とレクリエーション等を行うなどの交流の場としている。</p> <p>障害者自立支援員 5名配置</p> <p>利用者 延べ 2,883人 (10~2月)</p> <p>相談件数 延べ 511件 (1,193名)</p>	<p>社会福祉課</p>
	<p>○平成18年4月から地域包括支援センターを設置し、地域で暮らす高齢者が、住み慣れた土地で生き生きと生活できるよう、介護予防・高齢者の相談等に応じ、プランの作成、サービスの紹介等総合的におこなっている。</p> <p>○寝たきりや認知症高齢者の在宅介護者への経済的負担の軽減、交流会等による精神的負担の軽減を図った。</p> <p>家族介護者交流事業</p> <p>参加者 延べ89人 開催 5回</p> <p>介護手当給付事業(見込)</p> <p>対象者 延べ270人 延べ給付額 27,030千円</p> <p>介護用品給付事業(見込)</p> <p>延べ給付金額 1,673千円</p>	<p>高齢者支援課</p>
	<p>○生活機能低下が疑われる特定高齢者等の介護予防教室を実施。</p> <p>特定高齢者介護予防教室</p> <p>7教室で各6回開催</p> <p>サロン</p> <p>千屋 9回 熊谷 4回開催</p> <p>介護予防教室</p> <p>保健福祉センター3教室、井倉、豊永、菅生、大田会場は月1回 戸宮 6回 荻尾 5回</p>	<p>健康づくり課</p>

# 基本目標Ⅳ 男女の人権が尊重される社会づくり

## 重点項目-1 メディアにおける人権の尊重

### (1) メディア・リテラシーへの取り組み

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
メディア・リテラシーのための広報活動や講座など学習機会を提供する。	<p>○インターネットを活用した資料収集等が行われており、県の情報教育センターへ教職員を積極的に派遣し、研修をおこなっている。また、児童・生徒へも情報を読み解く力をつけるための指導をおこなっている。</p> <p>○新見市のホームページに男女共同参画コーナーを設け「新見市男女共同参画まちづくり条例」「男女共同参画プラン」などを載せて啓発に努めている。</p>	<p>学校教育課</p> <p>企画課</p>

### (2) 行政刊行物等の表現における男女平等の推進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
市が作成する刊行物等については、男女共同参画社会の視点に立って作成する。	○庁内、広報公聴委員連絡会議において、性にとらわれない表現の周知徹底を図っている。	企画課

### (3) 高度情報通信社会における新たな課題への対応

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
インターネット等について人権に配慮した正しい利用についての啓発を行う。	<p>○児童・生徒に対し、積極的なインターネットの活用を図ると共に正しい利用方法をきちんと指導し、犯罪の加害者や被害者にならないよう指導している。</p> <p>○平成18年9月から11月に市内18会場で実施した「情報化講習会」においてインターネット等の利用の中で、人権に配慮した情報の発信、収集等について啓発をおこなった。</p> <p>○セキュリティポリシーを定め、職員には研修・ネットワークをとおして周知徹底している。</p> <p>○まなび広場のメディアフロアでは、インターネットを利用しての、人権問題等について注意を促し、また、問題がある書き込み等のチェックもしている。</p>	<p>学校教育課</p> <p>情報政策課</p> <p>生涯学習課</p>

## 重点項目-2 女性に対するあらゆる暴力の根絶

### (1) 女性に対する暴力の発生を防ぐための基礎づくり

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
セクシャル・ハラスメント防止にむけた、広報活動及び防止対策等の環境整備を推進する。	<p>○有害図書回収のための白ポストを2か所設置し、月2回収し、特に青少年健全育成のため市内の巡回指導もおこなっている。</p> <p>○勤務規律の中で、セクシャル・ハラスメント防止についても徹底している。また、相談体制についても確立している。</p> <p>○平成18年7月「新見市立小中学校におけるセクシャル・ハラスメント防止等に関する要綱」を作成し、相談窓口の体制づくり等徹底を図っている。</p> <p>○岡山労働局雇用均等室によるセクシャル・ハラスメント防止等のセミナーの実施</p>	<p>青少年育成センター</p> <p>総務課</p> <p>学校教育課</p> <p>商工観光課</p>

### (2) あらゆる暴力への対策

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
DV防止法等関係法令の周知、相談しやすい環境整備、相談機関の連携を図る。	<p>○男女雇用機会均等法、DV防止法など関係法令について新見市ホームページに掲載し徹底を図っている。</p> <p>○相談機関として、男女共同参画プラザを設置し、相談員を配置している。広報紙等活用しながら機会ある毎に周知をおこなっている。 開設日時 火曜～木曜 10～18時</p> <p>○必要に応じて社会福祉課、警察署、配偶者暴力支援センター等と連絡している。</p>	企画課

## 重点項目-3 生涯を通じた健康等の支援

### (1) 性と生殖の健康・権利に関する意識の浸透

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課
性と生殖に関する健康/権利の概念浸透のための、広報活動や学習機会の提供、青少年に対するHIV/エイズ等の正しい知識の普及を図る。	○HIV/エイズに関する指導は小学校では特に6年生について「体育」の保健領域や、「学級活動」で、中学校では「保健体育」の保健分野や、学級活動で、理解、予防、不安や偏見・差別の払拭等指導・啓発につとめている。	学校教育課

(2) 生涯を通じた健康増進対策の推進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課																					
全ての市民が健康で、明るく、いきいきと安心して暮らせるよう、健康教育、健康相談、各種健(検)診等を実施し、正しい知識の普及と検診受診率の向上を図る。	<p>○総合検診を市内34か所で実施し、検診約1か月後の結果説明会で健康相談、健康教育を実施</p> <table border="0"> <tr> <td>受診者</td> <td>基本健康診査</td> <td>5,243人</td> <td>大腸ガン</td> <td>5,411人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>結核</td> <td>6,837人</td> <td>肺ガン</td> <td>6,558人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前立腺ガン</td> <td>1,604人</td> <td>胃ガン</td> <td>4,003人</td> </tr> </table> <p>○妊娠届出時には必ず保健師が面接し、妊娠中の健康管理について指導するとともに、不安の軽減に努めている。また、妊婦・乳児の異常の早期発見のため受診無料券を発行</p> <p>○乳ガン・子宮ガン検診を集団・個別検診方式で実施。マンモグラフィ集団検診については、新見支局管内と4支局管内を隔年で実施しているため、毎年実施できるようにする必要がある。</p> <table border="0"> <tr> <td>受診者</td> <td>乳ガン</td> <td>1,668人(内マンモ受診者 1,110人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子宮ガン</td> <td>2,255人</td> </tr> </table> <p>○小児科については平成18年4月から、新見中央病院で小児科専門医により月～土曜日まで毎日診療がおこなわれている。産科についても哲多町「女性と子どものクリニック」が開設され月～土曜日まで毎日診療がおこなわれている。</p>	受診者	基本健康診査	5,243人	大腸ガン	5,411人		結核	6,837人	肺ガン	6,558人		前立腺ガン	1,604人	胃ガン	4,003人	受診者	乳ガン	1,668人(内マンモ受診者 1,110人)		子宮ガン	2,255人	健康づくり課
受診者	基本健康診査	5,243人	大腸ガン	5,411人																			
	結核	6,837人	肺ガン	6,558人																			
	前立腺ガン	1,604人	胃ガン	4,003人																			
受診者	乳ガン	1,668人(内マンモ受診者 1,110人)																					
	子宮ガン	2,255人																					

(3) 高齢者・障害者等の健康と社会参加の促進

施策の内容	18年度実績(課題)	担当課									
老人クラブ活動支援、高齢者・障害者の自立支援サービスの整備・充実。バリアフリー、ユニバーサルデザインの啓発及び普及を図る。	<p>○老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金による活動支援をおこなっている。</p> <table border="0"> <tr> <td>補助金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>老人クラブ連合会</td> <td>240万円</td> </tr> <tr> <td>単位老人クラブ(100クラブ)</td> <td>601万円</td> </tr> </table> <p>○障害者週間にあわせチラシや授産作業所で作成した製品等を配布し啓発活動をおこなった。</p> <p>○まなび広場にいみで新見福祉フォーラムを開催し、障害者が地域の一員となるための講演会、パネルディスカッションをおこなった。</p> <table border="0"> <tr> <td>参加者</td> <td>障害者、家族、一般市民等</td> <td>114人</td> </tr> </table> <p>○平成18年10月に障害者自立支援協議会を開催</p> <p>○車椅子等の通行に支障があった市役所玄関改修</p>	補助金額		老人クラブ連合会	240万円	単位老人クラブ(100クラブ)	601万円	参加者	障害者、家族、一般市民等	114人	<p>高齢者支援課</p> <p>社会福祉課</p> <p>総務課</p>
補助金額											
老人クラブ連合会	240万円										
単位老人クラブ(100クラブ)	601万円										
参加者	障害者、家族、一般市民等	114人									